

令和5年度 単位互換授業履修対象科目（後期）一覧

構成機関名
(日本赤十字秋田短期大学)

No.	ページ	授業科目名	担当教員	単位数	学期 ()内初日	受入数	学部等	曜日/時限	備考
1	1	防災ボランティア演習	及川 真一	1	後期 (1/17)	5名	介護福祉学科	水/3・4	授業期間：1/17~2/7
2	2	防災福祉論	佐藤 沙織	1	後期 (1/30)	5名	介護福祉学科	備考のとおり	1/30 (火) 3,4限、1/31 (水) 2~4限、2/1 (木) 2,3限、 2/5 (月) 2,3限、2/8 (木) 1~4限、2/9 (金) 2,3限

【注意事項】

『特別聴講学生入学願』の提出期日： 令和 5 年 9 月 8 日 (金)

防災ボランティア演習

担当教員 : 及川 真一

ナバリング : 1-A-1-c0-07

所属 : 介護福祉学科

必修/選択 : 必修

開講時期 : 1年 後期後半

授業形態 : 講義・演習

単位数 : 1

時間数 : 15

授業の目的						
実践を通して、防災ボランティアに関する理解をより深めることが本授業の目的である。防災ボランティア活動の意義や役割を踏まえ、災害という特殊な環境において、ボランティアに求められる知識と適切な心構えを身につけ専門性を発揮できる能力を涵養する。						
到達目標・DPとの関連						
	到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
	防災ボランティア活動の意義、役割を説明することができる。	○				
	災害時の課題を知ることができる。	○				
	他者と協調し、円滑な避難所運営（演習）を実施できる。		○	○	○	○
	災害時に必要な技術（テント設営・炊き出し等）を実施できる。		○	○	○	○
授業の方法						
本授業は、講義と演習を交えながら進めます。講義は、テキストとパワーポイントによる資料提示及び配付資料を用いて展開します。演習では、実際に避難所支援の疑似体験やグループワークを行います。なお状況により、遠隔授業に変更する場合があります。						
成績評価方法・基準						
参画型の授業内容となり、出席し、活動することにより成績評価します。 授業への参加度50%、課題レポート評価50% 【課題レポートテーマ】防災ボランティアが果たしうる役割、自分にできることは何かについて述べる。						
課題等のフィードバック						
課題レポートについては、合否発表に併せ、科目全体としての到達状況の評価や平均点等について周知します。						
履修要件						
特になし						
履修に際しての留意点						
6回～8回目の授業は、本学の体育館・グラウンドで行う演習となっていますので、動きやすい服装で参加してください。						
学生へのアドバイス						
防災を学ぶ究極の目的は「自分の命は自分で守る」(自助)ということです。人は、安全な状況にいるときは気づかないが、危険な状況になって初めて、安全の大切さを知ります。事前に災害について詳しい知識と理解を持ち、危険な状況に対応できる実践的なスキルを身につける授業です。						
実務経験						
東日本大震災、熊本地震、秋田県豪雨災害、台風19号豪雨災害などの災害ボランティアに携わった経験をもとに、様々な実践的な事例を紹介しながら講義を行います。						
テキスト						
及川真一『防災キャンプのすすめ』 秋田魁新報社 2016						
参考文献						
授業に関する参考文献を随時、ご紹介いたします。 日本赤十字秋田看護大学・日本赤十字秋田短期大学教育・研究オープンリソースRCAKITA-CHANNEL https://www.youtube.com/watch?v=kzkQkcYJxJ4&t=13s						

防災福祉論

担当教員 : 佐藤 沙織

ナバリング : 1-A-2-c0-06

所属 : 介護福祉学科

必修/選択 : 必修

開講時期 : 2年 後期後半

授業形態 : 講義・演習

単位数 : 1

時間数 : 30

授業の目的						
災害時における危機を判断し、体制の変化や支援を必要とする方々のさまざまな状況に応じた介護を実践する能力を習得する。						
到達目標・DPとの関連						
	到達目標	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
想定されるリスクと備え、個々の状況に応じた支援について話し合い、計画を立案できる。			○			○
チームワークを認識して行動し、計画に基づいた災害時支援を実践できる。		○	○	○	○	○
災害時において個人の尊厳を最大限に守る支援を実践できる。		○	○	○	○	○
専門職としての視点から支援における自己・他者評価を行い、計画の見直し・修正ができる。			○			○
災害時、介護福祉士に求められる役割を述べるができる。					○	○
授業の方法						
本授業は演習を中心に行います。演習は小グループに分かれ、課題の検討や実際の疑似場面を想定し実演を行います。対面授業が基本ですが状況により、部分的に遠隔授業に変更する場合があります。						
成績評価方法・基準						
演習課題（20%）、発表（20%）、課題レポート（60%）について日本赤十字秋田短期大学の成績評価基準に基づいて評価を行います。						
課題等のフィードバック						
演習課題は添削し、加筆・修正していただきます。課題レポートは評価表をつけて返却します。						
履修要件						
特になし						
履修に際しての留意点						
開講時期、授業の進捗により日程が一部変更される場合があります。日程の変更などの連絡事項は掲示板にて行いますので、必ず確認してください。						
学生へのアドバイス						
災害時は平常時と異なる環境の中での支援となり、さまざまな条件が制限、限定された中で行われることになります。しかし、そのような中でも支援を必要とする方の尊厳を守るためには基本的知識・技術が身につけていること、それらを実行できることが求められます。これまで他の科目で学んだことを全て活用して演習に臨んでください。						
実務経験						
テキスト						
後藤真澄・高橋美岐子編『災害時の要介護者のケア』中央法規出版、2014。						
参考文献						
厚生労働省「介護施設・事業所における自然災害発生時の業務継続ガイドライン」、2020。 厚生労働省「介護施設・事業所における新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドライン」、2020。						

授業内容

回	授業内容	事前・事後学習テーマ
1	【ガイダンス】 【事例演習1】 ・災害時への備えと必要な支援の確認 ・災害時支援の考え方	事後：施設等が公表している災害時マニュアルや業務継続計画を検索し、参考資料とする。(60分)
2	【事例演習2】 ・災害時の具体的支援の検討	事前：事前に提示した事例を読み込み必要な支援について自分の考えをまとめる。(40分) 事後：支援内容について書籍やインターネットの情報を参考に補足する。(30分)
3	【事例演習3】 ・災害時の具体的支援の検討	事後：支援内容について書籍やインターネットの情報を参考に加筆修正する。(60分)
4	【事例演習4】 ・災害時の具体的支援の検討、計画立案	事前：支援内容について書籍やインターネットの情報を参考に加筆修正する。(60分)
5	【事例演習5】 ・災害時の具体的支援の検討、計画立案	事後：計画立案の加筆・修正を行う。(60分)
6	【事例演習6】 ・シナリオ作成、必要物品準備	事後：シナリオの内容を共有し、役割に応じた支援ができるよう準備する。(60分)
7	【事例演習7】 ・シナリオ作成、必要物品準備	事後：シナリオの流れ、必要な用具に不足がないか確認する。(60分)
8	【事例演習8】 ・ロールプレイ リハーサル	事前：実際に動けるように準備・配置を行い、実演できるようにする。(60分)
9	【事例演習9】 ・ロールプレイ リハーサル	事後：ロールプレイ発表に向けて、必要箇所を修正する。(60分)
10	【事例演習10】 ・ロールプレイ実施、評価	事前：各グループから提出された資料に目を通し、自グループとの違いや質問内容を考える。(60分)
11	【事例演習11】 ・ロールプレイ実施、評価	事後：評価表に基づいて、各グループのロールプレイについて評価する。(60分)
12	【事例演習12】 ・ロールプレイ実施、評価	事後：評価表に基づいて、各グループのロールプレイについて評価する。(60分)
13	【事例演習13】 ・ロールプレイ実施、評価	事後：各グループからの評価内容を改めて確認し、計画の加筆・修正に向けて課題を共有する。(60分)
14	【事例演習14】 ・計画の見直し、修正	事後：各グループからの評価内容を見直し、計画の修正をする。(60分)
15	【事例演習15】 ・計画の見直し、修正	事後：各グループからの評価内容を見直し、計画の修正をし、介護福祉士としての役割を確認する。(60分)